

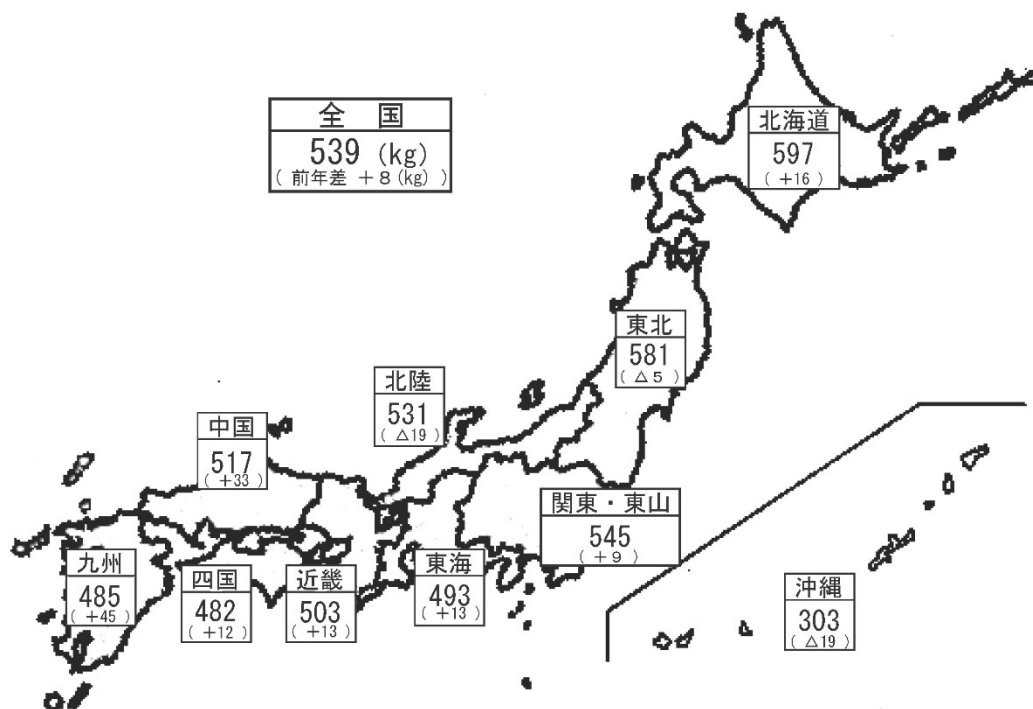
作物統計調査 令和3年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

－ 予想収穫量（主食用）は700万7,000tの見込み －

【調査結果の概要】

- 1 令和3年産水稻の作付面積（子実用）は140万3,000haで、前年産に比べ5万9,000ha減少した。うち主食用作付面積は130万3,000haで、前年産に比べ6万3,000ha減少した。
- 2 全国の10a当たり予想収量は539kgが見込まれる。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は756万3,000tで、前年産に比べ20万tの減少が見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は700万7,000tで、前年産に比べ21万9,000tの減少が見込まれる。
- 4 なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は101となる見込み。

図1 全国農業地域別10a当たり予想収量（10月25日現在）



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 本調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y4 】

◎ 水稲調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

水稲（子実用）の年次別推移（全国）

年産	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主食用 作付面積	収穫量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成13年産	1,700,000	532	9,048,000	…	…	103
14	1,683,000	527	8,876,000	…	…	101
15	1,660,000	469	7,779,000	…	…	90
16	1,697,000	514	8,721,000	…	…	98
17	1,702,000	532	9,062,000	…	…	101
18	1,684,000	507	8,546,000	…	…	96
19	1,669,000	522	8,705,000	…	…	99
20	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	102
21	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	98
22	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	98
23	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	101
24	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	102
25	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29	1,465,000	534	7,822,000	1,370,000	7,306,000	100
30	1,470,000	529	7,780,000	1,386,000	7,327,000	98
令和元	1,469,000	528	7,762,000	1,379,000	7,261,000	99
2	1,462,000	531	7,763,000	1,366,000	7,226,000	99
3 (見込み)	1,403,000	539	7,563,000	1,303,000	7,007,000	101

資料：農林水産省統計部『作物統計』

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 2 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 4 作況指数は、平成26年産以前は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までは、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
- 5 「…」は、調査を欠くことを示している。

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合 45%）以上に相当するよう、ふるい目幅 1.70mm 以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている（21 ページ【参考 1】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表 1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成28年産	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
令和元	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
3（概数値）	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
平均 値	100.0	0.8	1.4	2.0	2.9	15.5	77.4
対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.8	1.1

注：平均値は、直近 5 か年の重量割合の平均である。

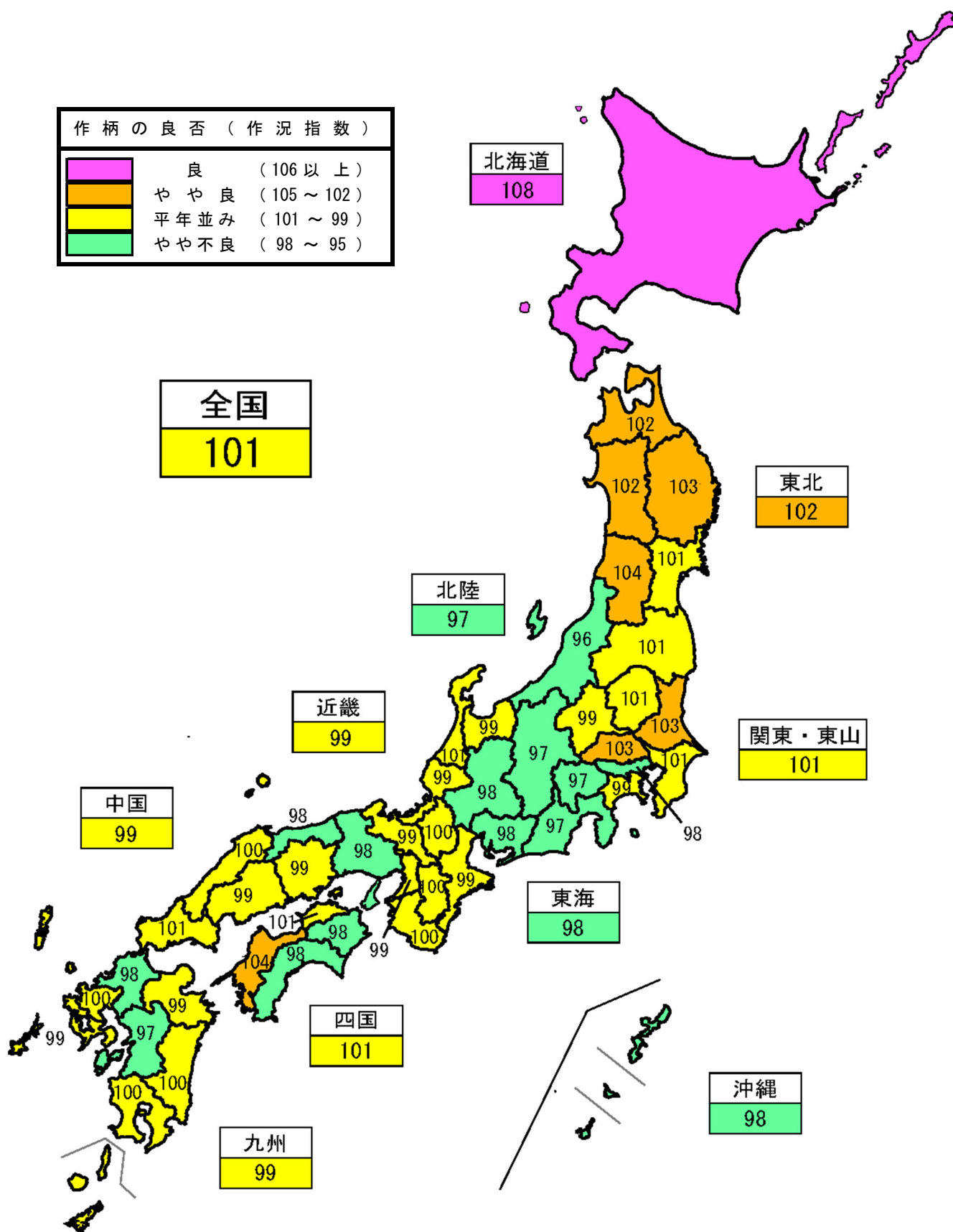
表 2 ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（全国）

年 産	単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上	
		平成28年産	10a 当たり収量	kg	544	540	534	524
	収穫量	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000
29	10a 当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30	10a 当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
令和元	10a 当たり収量	kg	528	524	517	507	492	411
	収穫量	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2	10a 当たり収量	kg	531	527	520	510	494	418
	収穫量	t	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
3 （概数値）	10a 当たり収量	kg	539	535	527	517	502	423
	収穫量	t	7,563,000	7,502,000	7,397,000	7,260,000	7,049,000	5,937,000
	対前年比	%	97	97	97	97	98	97

注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、全国の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数（10月25日現在）



注：1 作況指数は、10a 当たり平年収量に対する 10a 当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去 5 か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出には、第一期稲の 10a 当たり収量と第二期稲の 10a 当たり平年収量の加重平均を用いた。

【調査結果】

1 令和3年産水稻の作付面積（子実用）は140万3,000ha（前年産に比べ5万9,000ha減少）となった。

また、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は130万3,000ha（前年産に比べ6万3,000haの減少）となった（表3参照）。

2 10月25日現在における水稻の地域別の10a当たり予想収量は、北海道及び東北においては、全もみ数が平年以上に確保され、登熟も順調に推移したことから、北海道は597kg（前年産に比べ16kg増加）、東北は581kg（同5kg減少）が見込まれる。

その他の地域は、8月上旬の台風や8月中旬からの低温、日照不足等の影響により登熟が平年を下回る地域がある一方で、9月中旬以降、概ね天候に恵まれ登熟が順調に推移したことから、北陸は531kg（同19kg減少）、関東・東山は545kg（同9kg増加）、東海は493kg（同13kg増加）、近畿は503kg（同13kg増加）、中国は517kg（同33kg増加）、四国は482kg（同12kg増加）、九州は485kg（同45kg増加）が見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は539kg（前年産に比べ8kg増加）が見込まれる（表3参照）。

3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は756万3,000t（前年産に比べ20万t減少）が見込まれる。このうち、主食用作付面積に10a当たり予想収量に乗じた予想収穫量（主食用）は、700万7,000t（前年産に比べ21万9,000t減少）が見込まれる（表3参照）。

4 10月25日現在におけるふるい目幅別重量分布状況は、全国平均の1.85mm以上の玄米の重量割合は96.0%と見込まれ、直近5か年平均値に比べ0.2ポイント高くなっている（表4参照）。

5 10月25日現在における玄米品位の状況は、全国では、整粒の割合が70.4%と見込まれ、前年産に比べ1.8ポイント高くなっている（表7参照）。

表3 令和3年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

全 国 農 業 地 域	作付面積（子実用）			10a当たり予想収量		予想収穫量（子実用）				主食用 作付面積 ④	予想 収穫量 （主食用） ⑤=④×②	作況指数	
	実数 ①	前年産との比較		実数 ②	前年産 との比較 対差	実数 ③=①×②	前年産との比較		対差				対比
		対差	対比				対差	対比					
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t			
全 国	1,403,000	△ 59,000	96	539	8	7,563,000	△ 200,000	97	1,303,000	7,007,000	101		
北 海 道	96,100	△ 6,200	94	597	16	573,700	△ 20,700	97	88,400	527,700	108		
東 北	363,000	△ 18,500	95	581	△ 5	2,110,000	△ 126,000	94	322,400	1,870,000	102		
北 陸	201,800	△ 4,600	98	531	△ 19	1,072,000	△ 63,000	94	177,900	944,600	97		
関東・東山	253,100	△ 16,500	94	545	9	1,380,000	△ 64,000	96	240,100	1,309,000	101		
東 海	89,600	△ 2,900	97	493	13	441,700	△ 2,300	99	87,600	432,000	98		
近 畿	99,300	△ 2,000	98	503	13	499,700	3,700	101	95,700	481,800	99		
中 国	98,800	△ 2,400	98	517	33	511,000	21,300	104	95,900	496,100	99		
四 国	45,900	△ 1,500	97	482	12	221,400	△ 1,400	99	45,400	219,900	101		
九 州	155,100	△ 3,500	98	485	45	752,000	53,500	108	149,300	723,800	99		
沖 縄	666	16	102	303	△ 19	2,020	△ 70	97	623	1,890	98		

- 注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
 3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
 4 予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 5 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量の加重平均を用いた。
 6 作況指数は、10a当たり平均収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

表4 ふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在）

単位：%

全国農業地域	区分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
全 国	重量割合	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
	平均値	100.0	0.8	1.4	2.0	2.9	15.5	77.4
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.8	1.1
北 海 道	重量割合	100.0	0.6	0.9	1.2	1.9	8.6	86.8
	平均値	100.0	0.6	0.9	1.2	1.9	11.0	84.4
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 2.4	2.4
東 北	重量割合	100.0	0.6	1.1	1.5	2.4	13.3	81.1
	平均値	100.0	0.6	1.1	1.6	2.4	13.2	81.1
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	0.1	0.0
北 陸	重量割合	100.0	0.9	1.4	1.6	3.1	16.1	76.9
	平均値	100.0	0.6	1.1	1.6	2.4	13.7	80.6
	対平均差(ポイント)	0.0	0.3	0.3	0.0	0.7	2.4	△ 3.7
関東・東山	重量割合	100.0	1.1	1.6	2.1	3.4	18.1	73.7
	平均値	100.0	0.9	1.4	2.1	3.2	19.1	73.3
	対平均差(ポイント)	0.0	0.2	0.2	0.0	0.2	△ 1.0	0.4
東 海	重量割合	100.0	0.8	1.3	1.8	2.4	11.7	82.0
	平均値	100.0	0.8	1.3	1.9	2.4	12.6	81.0
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.9	1.0
近 畿	重量割合	100.0	1.0	1.6	1.9	2.7	14.3	78.5
	平均値	100.0	0.9	1.6	1.9	2.7	13.9	79.0
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	△ 0.5
中 国	重量割合	100.0	0.9	1.6	1.9	2.6	12.9	80.1
	平均値	100.0	0.8	1.4	2.1	2.7	14.0	79.0
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 1.1	1.1
四 国	重量割合	100.0	1.1	1.7	2.1	2.8	14.8	77.5
	平均値	100.0	1.1	1.9	2.7	3.6	18.1	72.6
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.6	△ 0.8	△ 3.3	4.9
九 州	重量割合	100.0	0.9	1.7	2.1	3.4	18.1	73.8
	平均値	100.0	1.4	2.7	3.6	5.2	24.1	63.0
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.5	△ 1.8	△ 6.0	10.8

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

2 ふるい目幅別重量分布状況は、10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下同じ。）。

表5 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）（10月25日現在）

全国農業地域	区分	単位	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
北 海 道	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	597 573,700	593 570,300	588 565,100	581 558,200	570 547,300	518 498,000
東 北	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	581 2,110,000	578 2,097,000	571 2,074,000	562 2,042,000	548 1,992,000	471 1,711,000
北 陸	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	531 1,072,000	526 1,062,000	519 1,047,000	510 1,030,000	494 997,000	408 824,400
関東・東山	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	545 1,380,000	539 1,365,000	530 1,343,000	519 1,314,000	500 1,267,000	402 1,017,000
東 海	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	493 441,700	489 438,200	483 432,400	474 424,500	462 413,900	404 362,200
近 畿	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	503 499,700	498 494,700	490 486,700	480 477,200	467 463,700	395 392,300
中 国	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	517 511,000	512 506,400	504 498,200	494 488,500	481 475,200	414 409,300
四 国	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	482 221,400	477 219,000	469 215,200	458 210,600	445 204,400	374 171,600
九 州	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	485 752,000	481 745,200	472 732,400	462 716,700	446 691,100	358 555,000

注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、全国又は全国農業地域別の10a 当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国又は全国農業地域別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表6 令和3年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（10月25日現在）

単位：%

全 国 農業地域	区 分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
全 国	筆数割合	100.0	0.1	0.2	1.1	6.5	23.6	41.6	23.0	3.7	0.2
	前年値	100.0	0.4	0.7	2.0	8.1	25.0	39.0	21.0	3.6	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.9	△ 1.6	△ 1.4	2.6	2.0	0.1	0.0
北 海 道	筆数割合	100.0	0.2	-	0.2	1.2	7.5	33.7	50.7	6.3	0.2
	前年値	100.0	-	-	0.2	0.7	12.8	37.2	44.1	5.0	-
	対前年差(ポイント)	0.0	0.2	-	0.0	0.5	△ 5.3	△ 3.5	6.6	1.3	0.2
東 北	筆数割合	100.0	-	0.2	0.8	3.1	12.5	34.3	37.8	10.4	0.9
	前年値	100.0	-	0.2	0.4	2.4	9.9	37.0	38.4	11.0	0.7
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.0	0.4	0.7	2.6	△ 2.7	△ 0.6	△ 0.6	0.2
北 陸	筆数割合	100.0	-	0.2	0.6	4.2	22.6	49.0	21.8	1.6	-
	前年値	100.0	0.2	-	0.2	2.4	18.3	50.2	27.1	1.5	0.1
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.2	0.2	0.4	1.8	4.3	△ 1.2	△ 5.3	0.1	△ 0.1
関東・東山	筆数割合	100.0	-	0.1	0.4	4.7	18.4	44.7	27.4	4.1	0.2
	前年値	100.0	-	0.1	0.7	6.2	21.3	44.0	23.2	4.2	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.0	△ 0.3	△ 1.5	△ 2.9	0.7	4.2	△ 0.1	△ 0.1
東 海	筆数割合	100.0	-	0.1	1.6	10.2	30.7	45.8	11.0	0.5	0.1
	前年値	100.0	-	0.4	1.3	11.9	37.9	39.4	8.7	0.4	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	△ 0.3	0.3	△ 1.7	△ 7.2	6.4	2.3	0.1	0.1
近 畿	筆数割合	100.0	0.4	0.1	1.8	7.7	29.5	46.6	13.1	0.8	-
	前年値	100.0	-	0.5	2.0	8.6	38.2	41.3	9.2	0.2	-
	対前年差(ポイント)	0.0	0.4	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.9	△ 8.7	5.3	3.9	0.6	-
中 国	筆数割合	100.0	0.1	1.1	1.3	7.6	25.3	42.7	18.9	3.0	-
	前年値	100.0	1.3	1.7	3.6	11.2	29.3	36.4	14.4	1.9	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 1.2	△ 0.6	△ 2.3	△ 3.6	△ 4.0	6.3	4.5	1.1	△ 0.2
四 国	筆数割合	100.0	0.3	0.5	2.6	13.8	35.6	35.1	11.1	0.8	0.2
	前年値	100.0	0.3	1.0	3.6	15.6	37.1	33.6	8.0	0.8	-
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.8	△ 1.5	1.5	3.1	0.0	0.2
九 州	筆数割合	100.0	0.4	0.1	1.7	10.6	37.3	41.4	8.2	0.3	-
	前年値	100.0	1.6	2.2	6.5	17.4	36.2	31.0	4.8	0.3	-
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 1.2	△ 2.1	△ 4.8	△ 6.8	1.1	10.4	3.4	0.0	-

注：1 10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。
 3 沖縄については、作況標本筆を設置していないことから、調査結果を表記していない。

図3 令和3年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（10月25日現在、全国）

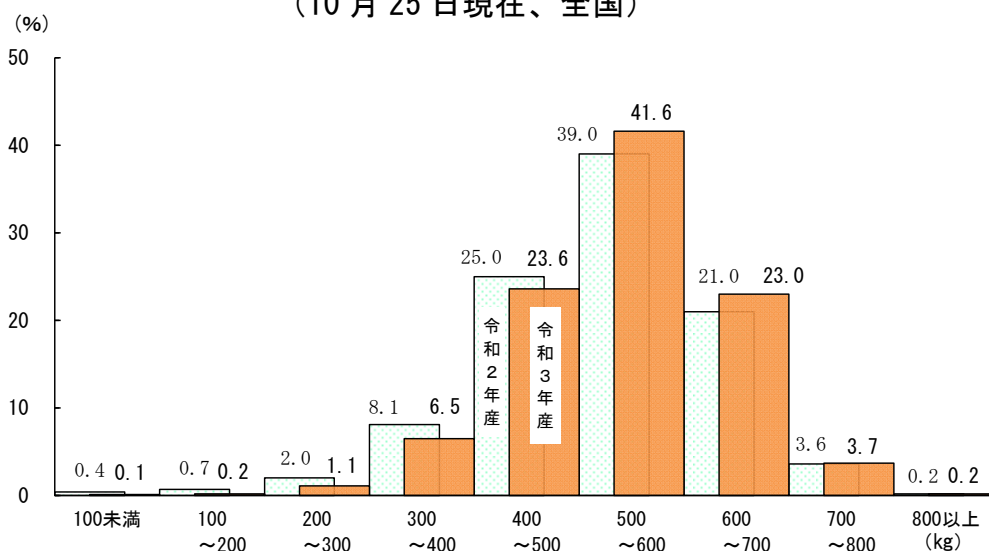


表7 令和3年産水稻の玄米品位の状況（10月25日現在、全国）

単位：%

区 分	整 粒	未熟粒	乳白粒・腹白粒	被害粒	死米・着色粒
重量割合	70.4	23.2	2.7	6.4	0.8
前年値	68.6	24.9	2.9	6.5	0.7
対前年差(ポイント)	1.8	△ 1.7	△ 0.2	△ 0.1	0.1

注：10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものであり、次回公表において数値が変動することがある。

【統計表】

統計表一覧

ページ

1	令和3年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量	10
2	令和3年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在）	12
3	令和3年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量（10月25日現在）	14
4	令和3年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（10月25日現在）	15
5	令和3年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月25日現在）	16
6	令和3年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月25日現在）	17
7	令和3年産水稻の玄米品位の状況（10月25日現在）	19
8	令和3年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月25日現在）	20

利用上の注意

- 統計数値については、次表の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原数		7桁以上 (100万)	6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3桁	2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 表中に用いた記号は次のとおりである。
 - 「0」、「0.0」：増減がないもの
 - 「-」：事実のないもの
 - 「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「△」：負数又は減少したもの
- この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和3年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量」（農林水産省）による旨を記載してください。

1 令和3年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

全 国 都道府県	作付面積（子実用）			10a 当たり 予想収量 ②	農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数 ①	前年産との比較			最も多い 使用割合 の 目 幅 ③	10a 当たり 予想収量 ④	10a 当たり 平年収量 ⑤	作況指数 ⑥=④/⑤
		対差	対比					
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,403,000	△ 59,000	96	539	...	515	512	101
北 海 道 (2)	96,100	△ 6,200	94	597	1.90	570	526	108
青 森 (3)	41,700	△ 3,500	92	616	1.90	584	574	102
岩 手 (4)	48,400	△ 2,000	96	555	1.90	528	514	103
宮 城 (5)	64,600	△ 3,700	95	547	1.90	520	514	101
秋 田 (6)	84,800	△ 2,800	97	591	1.90	555	543	102
山 形 (7)	62,900	△ 1,800	97	626	1.90	592	568	104
福 島 (8)	60,500	△ 4,800	93	555	1.85	536	533	101
茨 城 (9)	63,500	△ 4,300	94	543	1.85	521	505	103
栃 木 (10)	54,800	△ 4,400	93	549	1.85	520	516	101
群 馬 (11)	14,900	△ 600	96	492	1.80	476	482	99
埼 玉 (12)	30,000	△ 1,900	94	508	1.80	489	477	103
千 葉 (13)	50,600	△ 4,800	91	549	1.80	539	534	101
東 京 (14)	120	△ 4	97	405	1.80	394	403	98
神 奈 川 (15)	2,920	△ 70	98	492	1.80	470	477	99
新 潟 (16)	117,200	△ 2,300	98	529	1.85	507	529	96
富 山 (17)	36,300	△ 800	98	551	1.90	515	520	99
石 川 (18)	23,800	△ 1,000	96	527	1.85	512	509	101
福 井 (19)	24,500	△ 600	98	515	1.90	478	485	99
山 梨 (20)	4,850	△ 30	99	532	1.80	516	532	97
長 野 (21)	31,500	△ 300	99	603	1.85	579	598	97
岐 阜 (22)	21,600	△ 900	96	478	1.80	466	475	98
静 岡 (23)	15,300	△ 200	99	506	1.80	495	511	97
愛 知 (24)	26,400	△ 1,000	96	496	1.85	480	491	98
三 重 (25)	26,300	△ 800	97	495	1.85	474	479	99
滋 賀 (26)	30,100	△ 1,000	97	519	1.90	483	483	100
京 都 (27)	14,200	△ 100	99	504	1.85	486	493	99
大 阪 (28)	4,620	△ 80	98	490	1.80	476	479	99
兵 庫 (29)	35,800	△ 700	98	491	1.85	468	477	98
奈 良 (30)	8,440	△ 40	100	512	1.80	502	500	100
和 歌 山 (31)	6,100	△ 150	98	497	1.80	484	486	100
鳥 取 (32)	12,600	△ 300	98	505	1.85	485	495	98
島 根 (33)	16,800	△ 300	98	521	1.90	483	483	100
岡 山 (34)	28,800	△ 1,000	97	524	1.85	497	501	99
広 島 (35)	22,200	△ 400	98	522	1.85	502	509	99
山 口 (36)	18,400	△ 500	97	506	1.85	485	480	101
徳 島 (37)	10,300	△ 700	94	465	1.80	452	462	98
早期栽培 (38)	3,930	△ 330	92	455	1.80	443	453	98
普通栽培 (39)	6,400	△ 310	95	472	1.80	457	467	98
香 川 (40)	11,300	△ 400	97	501	1.80	485	478	101
愛 媛 (41)	13,200	△ 200	99	510	1.85	489	469	104
高 知 (42)	11,000	△ 300	97	451	1.80	439	446	98
早期栽培 (43)	6,190	△ 190	97	475	1.80	463	471	98
普通栽培 (44)	4,850	△ 100	98	420	1.80	407	414	98
福 岡 (45)	34,600	△ 300	99	473	1.85	447	457	98
佐 賀 (46)	23,300	△ 600	97	510	1.85	487	487	100
長 崎 (47)	10,800	△ 300	97	470	1.80	460	463	99
熊 本 (48)	32,300	△ 1,000	97	484	1.85	465	479	97
大 分 (49)	19,600	△ 600	97	487	1.80	471	476	99
宮 崎 (50)	15,900	△ 100	99	489	1.80	480	482	100
早期栽培 (51)	6,070	△ 70	99	481	1.80	476	470	101
普通栽培 (52)	9,800	△ 70	99	495	1.80	483	490	99
鹿 児 島 (53)	18,600	△ 700	96	479	1.80	468	470	100
早期栽培 (54)	4,380	△ 70	98	461	1.80	451	446	101
普通栽培 (55)	14,200	△ 700	95	485	1.80	474	477	99
沖 縄 (56)	666	16	102	303	1.80	293	300	98
第一期稲 (57)	481	2	100	355	1.80	349	354	99
第二期稲 (58)	185	14	108	...	1.80	...	149	...

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

3 ④10a 当たり予想収量、⑤10a 当たり平年収量及び⑥作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

予想収穫量（子実用）			主食用 作付面積 ⑧	予想収穫量 （主食用） ⑨＝⑧×②	
実数 ⑦＝①×②	前年産との比較				
	対差	対比			
t	t	%	ha	t	
7,563,000	△ 200,000	97	1,303,000	7,007,000	(1)
573,700	△ 20,700	97	88,400	527,700	(2)
256,900	△ 27,000	90	34,200	210,700	(3)
268,600	△ 10,100	96	46,200	256,400	(4)
353,400	△ 23,600	94	61,000	333,700	(5)
501,200	△ 26,200	95	71,400	422,000	(6)
393,800	△ 8,600	98	54,900	343,700	(7)
335,800	△ 31,200	91	54,700	303,600	(8)
344,800	△ 15,200	96	61,400	333,400	(9)
300,900	△ 17,600	94	50,600	277,800	(10)
73,300	△ 3,600	95	13,000	64,000	(11)
152,400	△ 5,800	96	28,800	146,300	(12)
277,800	△ 19,700	93	48,100	264,100	(13)
486	△ 10	98	120	486	(14)
14,400	200	101	2,920	14,400	(15)
620,000	△ 46,800	93	101,800	538,500	(16)
200,000	△ 6,300	97	32,200	177,400	(17)
125,400	△ 6,000	95	21,400	112,800	(18)
126,200	△ 3,800	97	22,500	115,900	(19)
25,800	0	100	4,760	25,300	(20)
189,900	△ 2,800	99	30,400	183,300	(21)
103,200	△ 2,600	98	20,700	98,900	(22)
77,400	3,300	104	15,200	76,900	(23)
130,900	△ 3,400	97	25,800	128,000	(24)
130,200	400	100	25,900	128,200	(25)
156,200	△ 2,100	99	28,900	150,000	(26)
71,600	0	100	13,600	68,500	(27)
22,600	400	102	4,620	22,600	(28)
175,800	1,700	101	34,100	167,400	(29)
43,200	2,300	106	8,400	43,000	(30)
30,300	1,400	105	6,100	30,300	(31)
63,600	△ 2,400	96	12,400	62,600	(32)
87,500	100	100	16,500	86,000	(33)
150,900	400	100	27,900	146,200	(34)
115,900	3,100	103	21,700	113,300	(35)
93,100	20,100	128	17,400	88,000	(36)
47,900	△ 4,500	91	9,980	46,400	(37)
17,900	△ 1,400	93	(38)
30,200	△ 2,800	92	(39)
56,600	△ 1,400	98	11,300	56,600	(40)
67,300	3,800	106	13,200	67,300	(41)
49,600	700	101	11,000	49,600	(42)
29,400	400	101	(43)
20,400	300	101	(44)
163,700	18,500	113	34,100	161,300	(45)
118,800	14,600	114	22,800	116,300	(46)
50,800	4,000	109	10,800	50,800	(47)
156,300	△ 200	100	31,200	151,000	(48)
95,500	14,100	117	19,400	94,500	(49)
77,800	1,800	102	13,900	68,000	(50)
29,200	400	101	(51)
48,500	1,200	103	(52)
89,100	700	101	17,100	81,900	(53)
20,200	500	103	(54)
68,900	100	100	(55)
2,020	△ 70	97	623	1,890	(56)
1,710	△ 50	97	(57)
...	(58)

4 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における早期・普通期別等の主食用作付面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

5 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

2 令和3年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在）

全 国 都道府県	ふるい目幅別重量分布状況						
	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
	%	%	%	%	%	%	%
全 国 (1)	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
北 海 道 (2)	100.0	0.6	0.9	1.2	1.9	8.6	86.8
青 森 (3)	100.0	0.6	1.1	1.5	2.0	11.1	83.7
岩 手 (4)	100.0	0.5	1.1	1.3	2.0	10.6	84.5
宮 城 (5)	100.0	0.5	1.0	1.5	2.0	13.0	82.0
秋 田 (6)	100.0	0.8	1.2	1.6	2.5	14.2	79.7
山 形 (7)	100.0	0.5	1.1	1.3	2.6	15.1	79.4
福 島 (8)	100.0	0.5	1.3	1.6	2.9	14.2	79.5
茨 城 (9)	100.0	1.0	1.4	1.7	3.0	15.8	77.1
栃 木 (10)	100.0	1.1	1.7	2.5	3.5	21.9	69.3
群 馬 (11)
埼 玉 (12)	100.0	1.6	2.2	3.2	4.7	24.4	63.9
千 葉 (13)	100.0	0.7	1.1	1.5	2.6	14.4	79.7
東 京 (14)	100.0	2.3	3.5	4.8	6.0	24.7	58.7
神 奈 川 (15)	100.0	1.5	2.9	3.3	4.9	22.7	64.7
新 潟 (16)	100.0	1.0	1.5	1.7	3.4	17.7	74.7
富 山 (17)	100.0	0.8	1.3	1.7	2.8	14.1	79.3
石 川 (18)	100.0	0.6	1.1	1.2	2.3	12.0	82.8
福 井 (19)	100.0	1.0	1.5	1.6	3.0	15.0	77.9
山 梨 (20)	100.0	1.2	1.9	2.1	3.7	16.8	74.3
長 野 (21)	100.0	0.9	1.6	1.5	3.0	14.5	78.5
岐 阜 (22)	100.0	1.0	1.6	2.1	2.2	12.0	81.1
静 岡 (23)	100.0	0.8	1.3	1.5	2.8	13.6	80.0
愛 知 (24)	100.0	0.7	1.1	1.5	2.7	11.6	82.4
三 重 (25)	100.0	0.9	1.4	2.0	2.1	10.5	83.1
滋 賀 (26)	100.0	1.1	1.6	2.0	2.3	14.9	78.1
京 都 (27)	100.0	0.8	1.3	1.5	2.8	11.9	81.7
大 阪 (28)	100.0	1.1	1.8	2.9	3.3	15.6	75.3
兵 庫 (29)	100.0	1.1	1.7	1.9	3.2	15.6	76.5
奈 良 (30)	100.0	0.6	1.3	1.5	2.4	12.0	82.2
和 歌 山 (31)	100.0	1.0	1.6	1.9	2.2	12.1	81.2
鳥 取 (32)	100.0	0.9	1.5	1.5	2.5	12.6	81.0
島 根 (33)	100.0	0.9	1.5	2.1	2.7	13.8	79.0
岡 山 (34)	100.0	1.1	1.7	2.3	2.8	13.6	78.5
広 島 (35)	100.0	0.7	1.4	1.7	2.1	11.7	82.4
山 口 (36)	100.0	0.9	1.6	1.7	2.6	12.8	80.4
徳 島 (37)	100.0	1.1	1.8	2.5	2.6	14.5	77.5
早 期 栽 培 (38)	100.0	1.0	1.7	2.4	2.5	13.4	79.0
普 通 栽 培 (39)	100.0	1.2	1.9	2.6	2.7	15.1	76.5
香 川 (40)	100.0	1.3	1.8	2.4	3.0	16.5	75.0
愛 媛 (41)	100.0	0.9	1.5	1.8	3.0	16.1	76.7
高 知 (42)	100.0	1.1	1.6	2.0	2.7	11.4	81.2
早 期 栽 培 (43)	100.0	1.0	1.5	1.9	2.2	9.7	83.7
普 通 栽 培 (44)	100.0	1.2	1.8	2.1	3.4	13.9	77.6
福 岡 (45)	100.0	1.0	2.0	2.4	3.5	18.3	72.8
佐 賀 (46)	100.0	1.1	1.6	1.8	2.9	14.8	77.8
長 崎 (47)	100.0	0.7	1.5	2.0	3.5	19.1	73.2
熊 本 (48)	100.0	0.8	1.5	1.6	2.8	15.5	77.8
大 分 (49)	100.0	1.2	2.1	2.8	4.9	22.9	66.1
宮 崎 (50)	100.0	0.7	1.2	1.7	2.7	17.2	76.5
早 期 栽 培 (51)	100.0	0.4	0.7	1.0	1.6	12.2	84.1
普 通 栽 培 (52)	100.0	0.9	1.5	2.1	3.3	20.2	72.0
鹿 児 島 (53)	100.0	0.8	1.5	2.4	3.5	21.3	70.5
早 期 栽 培 (54)	100.0	0.8	1.4	2.2	3.3	19.4	72.9
普 通 栽 培 (55)	100.0	0.8	1.5	2.5	3.5	21.9	69.8
沖 縄 (56)

注：1 ふるい目幅別重量分布状況は、10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下同じ。）。

2 10月25日現在で、各都道府県において設置された作況標本筆等のおおむね80%以上でデータが得られた都道府県について調査結果を表章しており、それに満たない都道府県については「…」で示した（以下同じ。）。

対平均差							
1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上		
ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	
0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.8	1.1	(1)	
0.0	0.0	0.0	0.0	△ 2.4	2.4	(2)	
0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	△ 0.8	(3)	
△ 0.1	0.1	△ 0.1	0.0	△ 1.1	1.2	(4)	
△ 0.2	△ 0.2	0.0	△ 0.5	△ 2.5	3.4	(5)	
0.3	0.0	△ 0.3	0.1	1.5	△ 1.6	(6)	
0.0	0.1	△ 0.1	△ 0.2	0.5	△ 0.3	(7)	
0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.6	1.1	△ 1.5	(8)	
0.1	△ 0.1	0.0	△ 0.2	△ 3.1	3.3	(9)	
0.2	0.3	0.1	0.4	0.5	△ 1.5	(10)	
...	(11)	
0.5	0.5	0.5	0.4	△ 1.1	△ 0.8	(12)	
△ 0.2	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.2	△ 2.6	3.7	(13)	
1.5	2.1	2.7	2.7	6.7	△ 15.7	(14)	
0.2	0.9	0.9	0.7	3.2	△ 5.9	(15)	
0.4	0.3	△ 0.1	0.9	3.3	△ 4.8	(16)	
0.4	0.4	0.5	0.5	1.1	△ 2.9	(17)	
0.1	0.2	0.0	0.4	1.0	△ 1.7	(18)	
0.1	0.0	△ 0.2	0.3	0.6	△ 0.8	(19)	
0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	△ 1.0	(20)	
0.3	0.5	0.2	1.0	2.5	△ 4.5	(21)	
0.2	0.3	0.3	0.0	0.3	△ 1.1	(22)	
0.2	0.2	△ 0.3	0.2	△ 1.8	1.5	(23)	
0.0	△ 0.1	△ 0.3	0.2	△ 0.4	0.6	(24)	
0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 1.9	2.4	(25)	
0.3	0.3	0.3	0.0	2.4	△ 3.3	(26)	
0.1	0.1	0.0	0.8	1.8	△ 2.8	(27)	
△ 0.2	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.6	△ 4.8	8.1	(28)	
0.2	0.1	0.0	0.4	0.4	△ 1.1	(29)	
△ 0.3	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.1	△ 4.4	7.5	(30)	
0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.4	△ 1.7	2.2	(31)	
0.3	0.3	0.2	0.4	2.1	△ 3.3	(32)	
0.3	0.4	0.4	0.7	2.6	△ 4.4	(33)	
0.1	0.1	△ 0.5	△ 0.6	△ 3.0	3.9	(34)	
0.0	0.1	0.1	△ 0.1	△ 0.7	0.6	(35)	
△ 0.1	△ 0.2	△ 0.8	△ 1.1	△ 4.1	6.3	(36)	
0.2	0.3	0.3	0.0	0.7	△ 1.5	(37)	
0.2	0.3	0.5	0.2	0.4	△ 1.6	(38)	
0.3	0.3	0.3	0.0	0.8	△ 1.7	(39)	
0.1	△ 0.4	△ 0.8	△ 1.1	△ 6.5	8.7	(40)	
△ 0.5	△ 0.9	△ 1.3	△ 1.5	△ 3.9	8.1	(41)	
0.1	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 3.0	3.1	(42)	
0.3	0.3	0.4	0.0	△ 3.1	2.1	(43)	
△ 0.1	△ 0.4	△ 0.8	△ 0.3	△ 3.0	4.6	(44)	
△ 0.6	△ 1.1	△ 1.8	△ 1.6	△ 5.7	10.8	(45)	
△ 0.3	△ 0.7	△ 1.2	△ 1.2	△ 5.9	9.3	(46)	
△ 0.7	△ 1.4	△ 1.7	△ 2.8	△ 7.6	14.2	(47)	
△ 0.5	△ 1.1	△ 1.6	△ 2.2	△ 8.4	13.8	(48)	
△ 0.7	△ 1.7	△ 2.1	△ 2.6	△ 6.7	13.8	(49)	
△ 0.4	△ 0.7	△ 1.5	△ 1.8	△ 5.7	10.1	(50)	
△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.6	△ 2.6	4.3	(51)	
△ 0.5	△ 0.9	△ 2.2	△ 2.5	△ 7.7	13.8	(52)	
△ 0.3	△ 0.6	△ 0.9	△ 0.9	△ 1.0	3.7	(53)	
△ 0.1	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.3	△ 2.2	3.2	(54)	
△ 0.4	△ 0.8	△ 1.1	△ 1.1	△ 0.5	3.9	(55)	
...	(56)	

3 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

3 令和3年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量（10月25日現在）

単位：kg

全 国 都道府県	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	539	535	527	517	502	423
北 海 道	597	593	588	581	570	518
青 森	616	612	606	596	584	516
岩 手	555	552	546	539	528	469
宮 城	547	544	539	531	520	449
秋 田	591	586	579	570	555	471
山 形	626	623	616	608	592	497
福 島	555	552	545	536	520	441
茨 城	543	538	530	521	504	419
栃 木	549	543	534	520	501	380
群 馬
埼 玉	508	500	489	472	449	325
千 葉	549	545	539	531	517	438
東 京	405	396	382	362	338	238
神 奈 川	492	485	470	454	430	318
新 潟	529	524	516	507	489	395
富 山	551	547	539	530	515	437
石 川	527	524	518	512	500	436
福 井	515	510	502	494	478	401
山 梨	532	526	516	504	485	395
長 野	603	598	588	579	561	473
岐 阜	478	473	466	456	445	388
静 岡	506	502	495	488	474	405
愛 知	496	493	487	480	466	409
三 重	495	491	484	474	463	411
滋 賀	519	513	505	495	483	405
京 都	504	500	493	486	472	412
大 阪	490	485	476	462	445	369
兵 庫	491	486	477	468	452	376
奈 良	512	509	502	495	482	421
和 歌 山	497	492	484	475	464	404
鳥 取	505	500	493	485	473	409
島 根	521	516	508	498	483	412
岡 山	524	518	509	497	483	411
広 島	522	518	511	502	491	430
山 口	506	501	493	485	472	407
徳 島	465	460	452	440	428	360
早 期 栽 培	455	450	443	432	420	359
普 通 栽 培	472	466	457	445	432	361
香 川	501	494	485	473	458	376
愛 媛	510	505	498	489	473	391
高 知	451	446	439	430	418	366
早 期 栽 培	475	470	463	454	444	398
普 通 栽 培	420	415	407	399	384	326
福 岡	473	468	459	447	431	344
佐 賀	510	504	496	487	472	397
長 崎	470	467	460	450	434	344
熊 本	484	480	473	465	452	377
大 分	487	481	471	457	433	322
宮 崎	489	486	480	471	458	374
早 期 栽 培	481	479	476	471	463	405
普 通 栽 培	495	491	483	473	456	356
鹿 児 島	479	475	468	456	440	338
早 期 栽 培	461	457	451	441	426	336
普 通 栽 培	485	481	474	462	445	339
沖 縄

注：ふるい目幅別10a当たり収量とは、都道府県の10a当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

4 令和3年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（10月25日現在）

単位：t

全 国 都道府県	ふるい目幅別					
	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	7,563,000	7,502,000	7,397,000	7,260,000	7,049,000	5,937,000
北海道	573,700	570,300	565,100	558,200	547,300	498,000
青森	256,900	255,400	252,500	248,700	243,500	215,000
岩手	268,600	267,300	264,300	260,800	255,400	227,000
宮城	353,400	351,600	348,100	342,800	335,700	289,800
秋田	501,200	497,200	491,200	483,200	470,600	399,500
山形	393,800	391,800	387,500	382,400	372,100	312,700
福島	335,800	334,100	329,800	324,400	314,600	267,000
茨城	344,800	341,400	336,500	330,700	320,300	265,800
栃木	300,900	297,600	292,500	285,000	274,400	208,500
群馬
埼玉	152,400	150,000	146,600	141,700	134,600	97,400
千葉	277,800	275,900	272,800	268,600	261,400	221,400
東京都	486	475	458	434	405	285
神奈川県	14,400	14,200	13,800	13,300	12,600	9,320
新潟	620,000	613,800	604,500	594,000	572,900	463,100
富山	200,000	198,400	195,800	192,400	186,800	158,600
石川	125,400	124,600	123,300	121,800	118,900	103,800
福井	126,200	124,900	123,000	121,000	117,200	98,300
山梨	25,800	25,500	25,000	24,500	23,500	19,200
長野	189,900	188,200	185,200	182,300	176,600	149,100
岐阜	103,200	102,200	100,500	98,400	96,100	83,700
静岡県	77,400	76,800	75,800	74,600	72,400	61,900
愛知県	130,900	130,000	128,500	126,600	123,000	107,900
三重	130,200	129,000	127,200	124,600	121,900	108,200
滋賀	156,200	154,500	152,000	148,900	145,300	122,000
京都	71,600	71,000	70,100	69,000	67,000	58,500
大阪	22,600	22,400	21,900	21,300	20,500	17,000
兵庫県	175,800	173,900	170,900	167,500	161,900	134,500
奈良	43,200	42,900	42,400	41,700	40,700	35,500
和歌山	30,300	30,000	29,500	28,900	28,300	24,600
鳥取	63,600	63,000	62,100	61,100	59,500	51,500
島根	87,500	86,700	85,400	83,600	81,200	69,100
岡山	150,900	149,200	146,700	143,200	139,000	118,500
広島	115,900	115,100	113,500	111,500	109,100	95,500
山口	93,100	92,300	90,800	89,200	86,800	74,900
徳島	47,900	47,400	46,500	45,300	44,100	37,100
早期栽培	17,900	17,700	17,400	17,000	16,500	14,100
普通栽培	30,200	29,800	29,300	28,500	27,700	23,100
香川県	56,600	55,900	54,800	53,500	51,800	42,500
愛媛	67,300	66,700	65,700	64,500	62,500	51,600
高知	49,600	49,100	48,300	47,300	45,900	40,300
早期栽培	29,400	29,100	28,700	28,100	27,500	24,600
普通栽培	20,400	20,200	19,800	19,400	18,700	15,800
福岡	163,700	162,100	158,800	154,900	149,100	119,200
佐賀	118,800	117,500	115,600	113,500	110,000	92,400
長崎	50,800	50,400	49,700	48,700	46,900	37,200
熊本	156,300	155,100	152,700	150,200	145,800	121,600
大分	95,500	94,400	92,300	89,700	85,000	63,100
宮崎	77,800	77,300	76,300	75,000	72,900	59,500
早期栽培	29,200	29,100	28,900	28,600	28,100	24,600
普通栽培	48,500	48,100	47,300	46,300	44,700	34,900
鹿児島	89,100	88,400	87,100	84,900	81,800	62,800
早期栽培	20,200	20,000	19,800	19,300	18,600	14,700
普通栽培	68,900	68,300	67,300	65,600	63,200	48,100
沖縄

注：ふるい目幅別収穫量(子実用)とは、都道府県別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

5 令和3年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月25日現在）

単位:%

全 国 都道府県	計	100kg未満	100 ~200	200 ~300	300 ~400	400 ~500	500 ~600	600 ~700	700 ~800	800kg以上
全 国	100.0	0.1	0.2	1.1	6.5	23.6	41.6	23.0	3.7	0.2
北 海 道	100.0	0.2	-	0.2	1.2	7.5	33.7	50.7	6.3	0.2
青 森	100.0	-	0.3	0.6	3.3	10.0	24.2	35.3	23.6	2.7
岩 手	100.0	-	0.6	2.4	6.8	15.0	36.1	32.6	6.5	-
宮 城	100.0	-	-	0.9	2.7	17.0	50.3	28.8	0.3	-
秋 田	100.0	-	-	-	2.2	8.1	35.0	46.9	7.2	0.6
山 形	100.0	-	-	0.3	0.3	6.3	20.0	53.1	17.8	2.2
福 島	100.0	-	-	0.3	3.1	19.1	40.3	30.4	6.8	-
茨 城	100.0	-	-	0.7	2.1	17.1	54.3	25.4	0.4	-
栃 木	100.0	-	-	-	3.6	16.4	49.3	28.9	1.8	-
群 馬
埼 玉	100.0	-	-	0.6	9.4	28.3	44.5	16.1	1.1	-
千 葉	100.0	-	-	0.4	1.9	14.3	52.8	30.2	0.4	-
東 京
神 奈 川	100.0	-	1.7	1.7	10.0	33.3	38.3	15.0	-	-
新 潟	100.0	-	-	0.5	4.1	24.5	48.4	20.5	2.0	-
富 山	100.0	-	0.5	0.5	4.1	10.9	49.0	31.8	3.2	-
石 川	100.0	-	-	0.9	4.5	23.2	48.7	21.8	0.9	-
福 井	100.0	-	0.4	0.9	3.9	29.4	50.9	14.5	-	-
山 梨	100.0	-	-	-	11.3	18.8	41.1	25.0	3.8	-
長 野	100.0	-	-	0.4	2.6	10.6	27.7	40.1	17.5	1.1
岐 阜	100.0	-	-	4.0	11.4	30.9	39.6	14.1	-	-
静 岡	100.0	-	-	1.3	10.0	28.8	44.9	13.8	0.6	0.6
愛 知	100.0	-	-	1.0	6.2	30.1	58.4	4.3	-	-
三 重	100.0	-	0.4	0.9	13.0	32.6	38.8	13.0	1.3	-
滋 賀	100.0	1.0	0.5	2.4	5.2	21.4	48.1	19.5	1.9	-
京 都	100.0	-	-	0.7	12.9	26.4	44.3	15.7	-	-
大 阪	100.0	-	-	-	8.0	48.0	38.0	6.0	-	-
兵 庫	100.0	-	-	3.0	7.4	37.0	42.1	9.6	0.9	-
奈 良	100.0	-	-	-	5.0	28.0	58.0	8.0	1.0	-
和 歌 山	100.0	1.0	-	2.0	9.0	26.0	49.0	13.0	-	-
鳥 取	100.0	-	2.0	3.3	6.7	27.3	40.7	17.3	2.7	-
島 根	100.0	0.5	0.5	2.6	4.6	22.1	46.6	20.5	2.6	-
岡 山	100.0	-	1.4	0.9	6.4	22.8	46.6	19.2	2.7	-
広 島	100.0	-	-	-	11.4	26.8	36.3	20.0	5.5	-
山 口	100.0	-	2.2	0.6	8.3	28.3	42.8	16.7	1.1	-
徳 島	100.0	-	0.7	3.3	15.3	38.0	36.0	6.7	-	-
香 川	100.0	1.3	0.7	2.7	5.3	30.0	42.6	14.7	2.0	0.7
愛 媛	100.0	-	-	2.0	10.0	32.0	38.7	16.0	1.3	-
高 知	100.0	-	0.6	2.5	23.8	41.8	23.8	7.5	-	-
福 岡	100.0	-	-	0.8	13.8	40.8	40.4	4.2	-	-
佐 賀	100.0	-	1.0	1.4	7.7	24.9	46.3	17.7	1.0	-
長 崎	100.0	-	-	2.0	11.3	48.0	32.7	6.0	-	-
熊 本	100.0	2.1	-	2.5	8.2	34.3	41.8	10.7	0.4	-
大 分	100.0	-	-	3.2	9.7	33.5	48.2	4.9	0.5	-
宮 崎	100.0	-	-	0.5	12.0	36.8	41.6	9.1	-	-
鹿 児 島	100.0	-	-	1.5	11.7	46.1	37.1	3.6	-	-
沖 縄

注：1 10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。

2 東京都及び沖縄県については、作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。

6 令和3年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月25日現在）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	
北海道 (108)	石狩	109	群馬 (99)	中毛	99	
	南空知	107		北毛	98	
	北空知	108		東毛	99	
	上川	108	埼玉 (103)	東部	103	
	留萌	107		西部	101	
	渡島	106		千葉 (101)	京葉	102
	檜山	108			九十九里	100
	後志	108	南房総		102	
	胆振	110	東京 (98)	-	98	
	日高	109		神奈川 (99)	-	99
オホーツク・十勝	113	新潟 (96)			岩手	96
青森 (102)	青森				102	下越
	津軽			102	中越	95
	南部・下北			100	上越	95
岩手 (103)	北上川上流	102		富山 (99)	佐賀	96
	北上川下流	103			加能	96
	東部	101			嶺北	99
	北部	100			嶺南	99
宮城 (101)	南部	100	石川 (101)	-	99	
	中部	101		賀登	101	
	北東部	101		福井 (99)	嶺北	100
	東部	101	嶺南		99	
秋田 (102)	県北	103	山梨 (97)	-	97	
	県中	102		長野 (97)	東南	95
	県南	102			中北	95
山形 (104)	村山	104	岐阜 (98)	濃	100	
	最上	103		西濃	97	
	置賜	102		中濃	98	
	庄内	105		東濃	98	
福島 (101)	中通り	101	静岡 (97)	飛騨	98	
	浜通り	100		東部	97	
	会津	100		西部	97	
茨城 (103)	北部	104		静岡 (97)	東部	97
	鹿行	104	西部		97	
	南行	102	栃木 (101)		中部	100
	南西部	103		南部	101	
栃木 (101)	北中部	100				
	中部	101				
	南部	102				

注：作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

6 令和3年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月25日現在）（続き）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数
愛知 (98)	尾張	98	高知 (98)	中部	99
	西三河	98		西部	98
	東三河	98			
三重 (99)	北勢	99	福岡 (98)	福岡	98
	中勢	99		北東部	98
	南勢	97		筑後	98
	伊賀	100			
滋賀 (100)	湖北	100	佐賀 (100)	佐賀	101
	湖南	100		松浦	97
京都 (99)	南部	99	長崎 (99)	南部	98
	北部	98		北部	101
大阪 (99)	-	99		熊本 (97)	五島
	兵庫	98	壱岐・対馬		101
	県南	97			
奈良 (100)	-	100	大分 (99)	北部	98
	和歌山	100		湾岸	98
鳥取 (98)	東部	98		宮崎 (100)	南部
	西部	98	日田		100
島根 (100)	出雲	101	鹿児島 (100)		広域沿海
	石見	100		広域霧島	99
岡山 (99)	南部	100		鹿兒島	西北山間
	中部	99	薩摩半島		97
	北部	99	出水薩摩		102
広島 (99)	南部	101	沖縄 (98)	伊佐始良	98
	北部	97		大隅半島	103
				熊毛・大島	98
山口 (101)	東部	99		沖繩諸島	93
	西部	101		八重山	101
	長北	105			
徳島 (98)	北部	98			
	南部	98			
香川 (101)	-	101			
愛媛 (104)	東予	107			
	中予	104			
	南予	100			

注： 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。
また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

7 令和3年産水稻の玄米品位の状況（10月25日現在）

単位：％

全 国 農業地域	区 分	整 粒	未熟粒		被害粒	死米・着色粒
				乳白粒・腹白粒		
全 国	重量割合	70.4	23.2	2.7	6.4	0.8
	前年値	68.6	24.9	2.9	6.5	0.7
	対前年差(ポイント)	1.8	△ 1.7	△ 0.2	△ 0.1	0.1
北 海 道	重量割合	63.0	24.5	6.3	12.5	1.1
	前年値	69.7	23.0	3.4	7.3	0.5
	対前年差(ポイント)	△ 6.7	1.5	2.9	5.2	0.6
東 北	重量割合	75.9	19.2	1.7	4.9	0.6
	前年値	74.8	21.3	1.4	3.9	0.6
	対前年差(ポイント)	1.1	△ 2.1	0.3	1.0	0.0
北 陸	重量割合	71.2	18.9	1.7	9.9	0.4
	前年値	67.6	24.5	3.1	7.9	0.8
	対前年差(ポイント)	3.6	△ 5.6	△ 1.4	2.0	△ 0.4
関東・東山	重量割合	64.6	28.9	3.6	6.5	1.3
	前年値	65.0	25.2	2.1	9.8	0.8
	対前年差(ポイント)	△ 0.4	3.7	1.5	△ 3.3	0.5
東 海	重量割合	69.6	26.8	2.7	3.6	1.0
	前年値	67.2	26.6	2.5	6.2	1.0
	対前年差(ポイント)	2.4	0.2	0.2	△ 2.6	0.0
近 畿	重量割合	72.9	21.7	1.7	5.4	0.3
	前年値	63.6	28.3	4.9	8.1	0.5
	対前年差(ポイント)	9.3	△ 6.6	△ 3.2	△ 2.7	△ 0.2
中 国	重量割合	71.5	24.7	2.9	3.8	0.9
	前年値	70.3	26.4	4.1	3.3	0.5
	対前年差(ポイント)	1.2	△ 1.7	△ 1.2	0.5	0.4
四 国	重量割合	69.3	28.3	3.7	2.4	0.9
	前年値	68.6	28.0	4.9	3.4	0.8
	対前年差(ポイント)	0.7	0.3	△ 1.2	△ 1.0	0.1
九 州	重量割合	67.9	26.3	2.3	5.8	0.6
	前年値	59.7	33.1	5.5	7.2	1.8
	対前年差(ポイント)	8.2	△ 6.8	△ 3.2	△ 1.4	△ 1.2

注：1 10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものであり、次回公表において数値が変動することがある。

2 当該品位分析は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

3 九州には沖縄県のデータを含む。

8 令和3年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月25日現在）

全 国 都道府県	刈 取 期						刈取済 面積 割合
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較			
				対平年差	対前年差		
月 日	月 日	月 日	…	…	…		
全 国	…	…	…	…	…	97	
北 海 道	9. 11	9. 22	10. 1	8日早	5日早	100	
青 森	9. 16	9. 28	10. 10	6日早	4日早	100	
岩 手	9. 17	9. 29	10. 15	7日早	4日早	100	
宮 城	9. 17	9. 28	10. 12	4日早	1日早	100	
秋 田	9. 17	9. 26	10. 10	7日早	3日早	100	
山 形	9. 18	9. 29	10. 10	4日早	1日早	100	
福 島	9. 26	10. 8	10. 25	2日早	1日早	96	
茨 城	8. 28	9. 13	9. 26	並 み	並 み	100	
栃 木	9. 12	9. 24	10. 17	1日遅	2日遅	98	
群 馬	9. 20	10. 23	…	2日遅	3日遅	58	
埼 玉	8. 31	9. 28	…	3日遅	3日遅	93	
千 葉	8. 20	9. 2	9. 21	1日早	1日遅	100	
東 京	9. 18	10. 4	10. 19	1日早	並 み	96	
神 奈 川	9. 10	9. 29	10. 21	3日早	並 み	97	
新 潟	9. 5	9. 18	10. 3	2日早	1日早	100	
富 山	8. 23	9. 15	10. 8	並 み	1日早	100	
石 川	8. 25	9. 11	9. 30	1日遅	1日遅	100	
福 井	8. 20	9. 12	9. 30	2日遅	1日遅	100	
山 梨	9. 15	10. 5	…	2日遅	3日遅	90	
長 野	9. 15	10. 1	10. 16	1日遅	2日遅	98	
岐 阜	9. 3	10. 3	10. 23	並 み	2日遅	95	
静 岡	8. 30	9. 22	10. 24	1日遅	1日遅	95	
愛 知	8. 30	10. 8	…	2日遅	3日遅	77	
三 重	8. 23	9. 3	9. 23	1日遅	1日早	100	
滋 賀	9. 5	9. 15	10. 3	1日遅	1日早	100	
京 都	9. 4	9. 23	10. 17	1日早	1日遅	96	
大 阪	9. 12	10. 11	10. 23	1日早	4日遅	99	
兵 庫	9. 7	9. 28	10. 22	2日早	1日早	95	
奈 良	9. 7	10. 14	…	並 み	3日遅	93	
和 歌 山	8. 27	9. 20	10. 10	2日遅	3日遅	100	
鳥 取	9. 12	10. 1	10. 18	4日遅	3日遅	99	
島 根	9. 1	9. 20	10. 19	2日遅	3日遅	99	
岡 山	9. 11	10. 10	…	1日遅	4日遅	74	
広 島	9. 8	9. 26	10. 19	1日早	並 み	98	
山 口	9. 2	9. 24	10. 16	1日遅	6日遅	99	
徳 島 早期栽培	8. 23	8. 30	9. 13	8日遅	8日遅	100	
普通栽培	8. 26	9. 12	10. 10	3日遅	5日遅	99	
香 川	8. 24	10. 3	10. 19	1日遅	2日遅	100	
愛 媛	8. 25	9. 25	10. 21	2日遅	2日遅	98	
高 知 早期栽培	8. 1	8. 7	8. 28	1日早	1日早	100	
普通栽培	9. 15	10. 2	10. 13	5日早	並 み	98	
福 岡	9. 6	10. 2	10. 21	1日早	2日遅	96	
佐 賀	9. 14	10. 9	…	2日早	並 み	87	
長 崎	8. 27	10. 10	10. 24	3日早	2日早	98	
熊 本	8. 19	10. 8	…	2日早	並 み	93	
大 分	9. 18	10. 17	…	並 み	3日遅	90	
宮 崎 早期栽培	7. 27	8. 2	8. 10	2日遅	1日早	100	
普通栽培	9. 29	10. 14	…	1日遅	2日遅	88	
鹿 児 島 早期栽培	7. 27	8. 5	8. 19	並 み	4日早	100	
普通栽培	10. 4	10. 16	…	1日早	1日早	83	
沖 縄 第一期稲	5. 29	6. 22	7. 13	2日早	並 み	100	
第二期稲	…	…	…	…	…	-	

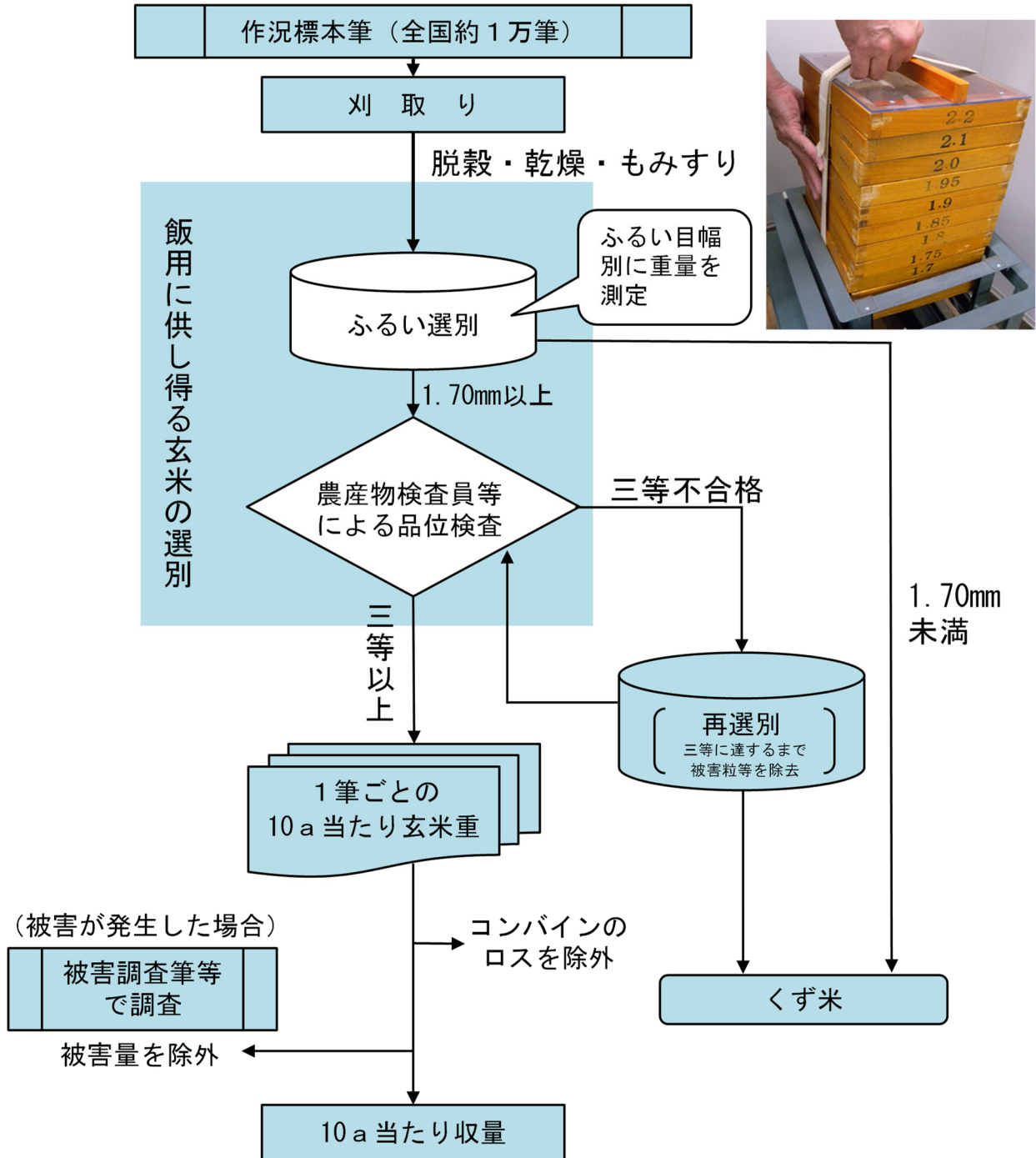
注：1 刈取期の始期、最盛期、終期とは、刈取済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

2 全国の「…」は事実不詳、都道府県の「…」は10月25日現在において、その期日に達していないことを示す。

【参考1】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考2】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。

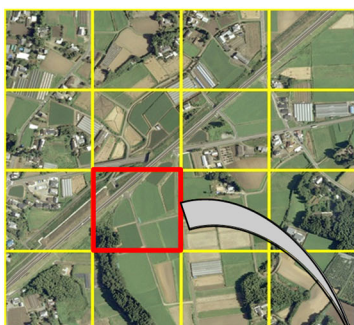


【参考2】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）^{ふで}は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約1万筆）調査している。

全国の全ての土地
(母集団)



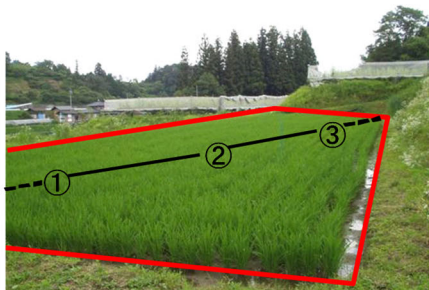
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(200m四方の土地)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万筆)



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び予想収穫量調査として実施したものであり、水稻の作付面積、作柄状況・予想収穫量等を明らかにすることにより、生産対策、需給見通しの策定、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

本調査は、全国の各都道府県を対象に実施している。

(2) 調査対象の選定

ア 作付面積調査

水稻の栽培に供された全ての耕地

イ 予想収穫量調査

水稻が栽培されている耕地

(3) 調査対象数

ア 作付面積調査

標本単位区：39,411単位区

イ 予想収穫量調査

作況標本筆：9,902筆、作況基準筆：279筆

3 調査事項

水稻の作付面積、10a当たり予想収量、予想収穫量、穂数・もみ数等の生育状況、登熟状況、被害状況、耕種状況等

4 調査期日

(1) 作付面積調査：令和3年7月15日現在

(2) 予想収穫量調査：令和3年10月25日現在

5 調査・集計方法

(1) 作付面積調査

ア 母集団の編成

空中写真（衛星画像等）に基づき、全国の全ての土地を隙間なく区分した200m四方（北海道にあっては、400m四方）の格子状の区画のうち、耕地が存在する区画を調査のための「単位区」とし、この単位区（区画内に存する耕地について筆ポリゴン（衛星画像等を基に面積調査用の地理情報システムにより筆（けい畔等で区切られた現況一枚のほ場）ごとの形状に沿って作成した面をいう。）を作成するものをいう。）の集まりを母集団（全国約290万単位区）としている。

なお、筆ポリゴンには、地目（田又は畑）等の情報が登録されている。

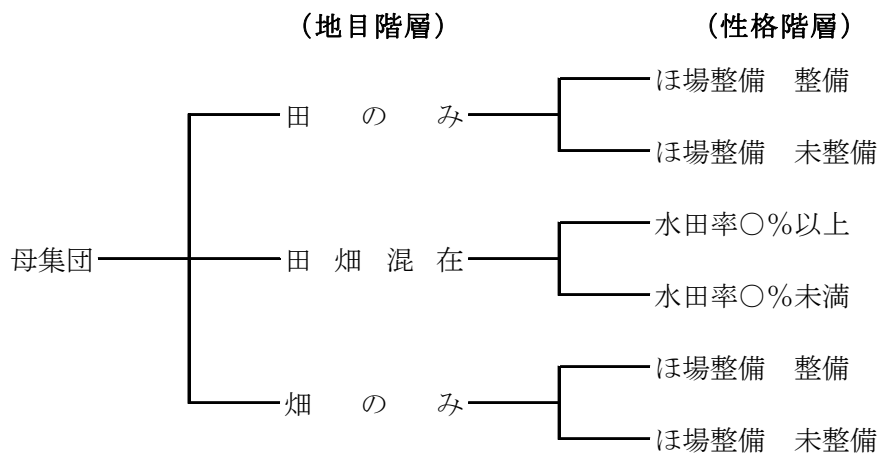
母集団は、ほ場整備、宅地への転用等により生じた現況の変化を反映するため、単位区の情報を補正することにより整備している。

イ 階層分け

調査精度の向上を図るため、母集団を各単位区内の耕地の地目に基づいて

地目階層（「田のみ階層」、「田畑混在階層」及び「畑のみ階層」）に分類し、それぞれの地目階層について、ほ場整備の状況、水田率等の指標に基づいて設定した性格の類似した階層（性格階層）に分類している。

階層分け模式図（例）



ウ 標本配分及び抽出

都道府県別の田畑別耕地面積及び水稲作付面積が的確に把握できるように階層ごとに調査対象数を配分し、系統抽出法により抽出する。

エ 実査（対地標本実測調査）

抽出した標本単位区内の水稲が作付けされている全ての筆について、1筆ごとに現況地目、耕地の境界及び作付けの状況を確認する。

オ 推定

水稲作付面積の推定においては、都道府県別に面積調査用の地理情報システムを使用して求積した「標本単位区の田台帳面積の合計」に対する「実査により得られた標本単位区の現況の水稲作付見積り面積の合計」の比率を「母集団（全単位区）の田の台帳面積の合計」に乘じ、これに台帳補正率（田台帳面積に対する実面積の比率）を乗じることにより、全体の面積を推定し、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

$$\text{推定面積} = \frac{\text{標本単位区の現況水稲作付見積り面積合計}}{\text{標本単位区の田台帳面積合計}} \times \text{全単位区の田台帳面積合計} \times \text{台帳補正率}$$

なお、全国計及び全国農業地域別の値は、都道府県別の値を合計して算出した。

カ その他

遠隔地、離島、市街地等の対地標本実測調査が非効率な地域については、職員による巡回・見積り、情報収集によって把握している。

(2) 予想収穫量調査

ア 母集団

(1)のイにより、「田のみ階層」及び「田畑混在階層」の地目階層に分類される単位区を母集団としている。

イ 階層分け

都道府県別に地域行政上必要な水稲の作柄を表示する区域として、水稲の生産力（地形、気象、栽培品種等）により分割した区域を「作柄表示地帯」

として設定し、この作柄表示地帯ごとに収量の高低、年次変動、収量に影響する条件等を指標とした階層分けを行っている。

ウ 標本配分及び抽出

都道府県別の調査対象数を階層別に水稻の作付面積に10 a 当たり収量の標準偏差を乗じた結果に比例して配分する。

階層別に配分された調査対象数を単位区の水稲作付面積(田台帳面積)に比例した確率で抽出する確率比例抽出法により標本単位区を抽出する。抽出された標本単位区内で、水稻が作付けされている筆から1筆を無作為に選定し、作況標本筆(実測調査を行う筆)とする。

エ 作況標本筆の実測

作況標本筆の対角線上の3か所を系統抽出法により調査箇所を選定し、株数、穂数、もみ数等の実測調査を行う。

オ 10 a 当たり玄米重の算定

(ア) 予想収穫量調査(調査期日において収穫期を迎えていないもの)

刈取りが行われる前に調査を実施するため、穂数、1穂当たりもみ数及び千もみ当たり収量のうち実測可能な項目については実測値、実測が不可能な項目については過去の気象データ、実測データを基に作成した予測式により算定した推定値を用いることとし、これらの数値の積により10 a 当たり玄米重を予測する。

(イ) 収穫量調査(調査期日において収穫期を迎えているもの)

各作況標本筆について、一定株数(1 m²分×3か所の株数)の稲を刈り取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後に、飯用に供し得る玄米(農産物規格規程(平成13年2月28日農林水産省告示第244号)に定める三等以上の品位を有し、かつ、粒厚が1.70mm以上であるもの)となるように選別し、10 a 当たり玄米重を決定する。

カ 10 a 当たり収量の推定

各作況標本筆の10 a 当たり玄米重の平均を基に、都道府県別の10 a 当たり玄米重平均値を推定し、これにコンバインのロス率(コンバインを使用して収穫する際に発生する収穫ロス)や被害データ等を加味して検討を行い、都道府県別の10 a 当たり収量を推定する。

さらに、作況基準筆(10 a 当たり収量を巡回・見積りにより把握する際の基準とするものとして有意に選定した筆をいう。)の実測結果及び特異な被害が発生した際に設置する被害調査筆の実測結果を基準とした巡回・見積り並びに情報収集による作柄及び被害の見積りによって推定値を補完する。

キ 収穫量及び被害量

作況標本筆の刈取り調査結果から推定した10 a 当たり収量に作付面積を乗じて収穫量を求める。

被害量は、農作物に被害が発生した後、生育段階に合わせて被害の状況を巡回・見積りで把握する。また、特異な被害が発生した場合は、被害調査筆を設置して調査を実施し把握する。

6 実績精度

作付面積調査の対地標本実測調査における水稻作付面積に係る調査結果（全国）の実績精度を標準誤差率（標本誤差の推定値÷推定値×100）により示すと、次のとおりである。

区 分	標準誤差率（％）
水稻作付面積	0.34

7 全国農業地域の表章区分

全国農業地域名	所 属 都 道 府 県 名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

8 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等を指す。
- (2) 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。

なお、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までの作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降の作況指数は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

令和3年産の作況指数の算出に用いるふるい目幅							
都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅
北海道	1.90mm	東京	1.80mm	滋賀	1.90mm	香川	1.80mm
青森	1.90mm	神奈川	1.80mm	京都	1.85mm	愛媛	1.85mm
岩手	1.90mm	新潟	1.85mm	大阪	1.80mm	高知	1.80mm
宮城	1.90mm	富山	1.90mm	兵庫	1.85mm	福岡	1.85mm
秋田	1.90mm	石川	1.85mm	奈良	1.80mm	佐賀	1.85mm
山形	1.90mm	福井	1.90mm	和歌山	1.80mm	長崎	1.80mm
福島	1.85mm	山梨	1.80mm	鳥取	1.85mm	熊本	1.85mm
茨城	1.85mm	長野	1.85mm	島根	1.90mm	大分	1.80mm
栃木	1.85mm	岐阜	1.80mm	岡山	1.85mm	宮崎	1.80mm
群馬	1.80mm	静岡	1.80mm	広島	1.85mm	鹿児島	1.80mm
埼玉	1.80mm	愛知	1.85mm	山口	1.85mm	沖縄	1.80mm
千葉	1.80mm	三重	1.85mm	徳島	1.80mm		

- (3) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

9 その他

- (1) この資料のうち、作付面積は、概数値である。

確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和4年2月予定）するとともに、その後刊行する「令和3年耕地及び作付面積統計」に掲載する。

なお、確定した詳細な数値をホームページに掲載した後の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

- (2) 本調査（10月25日現在）は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

なお、本調査についての確定値は、「令和3年産水陸稲の収穫量」として令和3年12月上旬に公表する予定である。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y4 】

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

- ・作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3681

（直通）03-6744-2045

FAX： 03-5511-8771

- ・予想収穫量に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3682

（直通）03-3502-5687

FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>